

富士山 ～世界遺産へ



2013年4月30日、ユネスコの諮問機関であるイコモスの勧告により、富士山の世界遺産登録がほぼ決まったことが発表されました。これを受け、東京、静岡、山梨の一部では号外が発行され、富士山ブームが巻き起こりました。

そして6月22日、正式に登録が決定しました。イコモスから除外を勧告されていた三保松原も富士山の構成資産として認められ、地元は最高の盛り上がりを見せました。

世界遺産には3種類あり、富士山は「文化遺産」として登録されます。当初は、「自然遺産」としての登録を目指していましたが、ごみ問題があることから登録が難しいと判断し、「文化遺産」としての登録を狙い再挑戦した結果、やっと認められました。

日本最高峰の富士山は、古くから信仰の山とされ、荘厳な姿は浮世絵などの芸術作品にも描かれています。「信仰の対象と芸術の源泉」というのが、ユネスコ世界遺産委員会の評価です。

今回の特集では、この浮世絵の作品集、写真集、富士を題材にした文学作品や絵本などを集めました。登山のガイドブックや科学的なアプローチ本もあります。新しく出版されるものも、随時投入していく予定です。

豊橋市内から小さく見える富士山。日本の誇りではありますが、お隣の県のため今ひとつ身近でなかった富士山。この機会にたっぷり味わってみませんか。

「世界遺産」

1972年にユネスコが採択した世界遺産条約に基づき、人類全体で保護すべき遺産として登録される。現在の総数は文化遺産745件、自然遺産188件、両者の複合遺産29件の計962件。日本は92年から参加し、93年に「法隆寺」「姫路城」「白神山」「屋久島」の4件が初登録された。95年には「白川郷・五箇山の合掌造り集落」、96年に「原爆ドーム」が登録。2007年に「石見銀山遺跡」、11年に「平泉」が登録され、富士山は17件目となる。文化遺産としては13件目。(中日新聞 5月2日)